

ご本人の生活安寧指標 1 1 活用ガイド【聴き手用】 ～認知症の人の望む生活の実現に寄り添い支援する～

認知症の本人の声（感じていること）を生活に反映する

【聴き手用】は、希望を伝えることが可能な認知症の本人の希望をケアに活かすための指標です。生活状態について、ケアを受けておられる認知症の本人が感じていることを直接具体的に聴き取り、本人の希望を今の生活や将来の生活に反映するために用います。認知症の症状や程度に関わらず、本人の声を大切にして、その人らしさを発揮しながら、落ち着いて、安心して、ゆったりと暮らすことができること、さらには、本人も関わる人も共に幸せになること等に向けて、寄り添い支援する際に用います。会話を楽しみながら聴き取ることで、お互いに有意義なコミュニケーション機会となることも期待されます。

【聴き手用】と【介護者観察用】を併用することで、本人の思いと介護者の思いの違いを知り、より本人の思いに寄り添ったケアの検討と実践に活かします。

【聴き手用】認知症の本人の声（感じていること）を聴く

生活状態11項目について、本人はどの程度実現できていると感じているか、どの程度実現したいと希望しているか、満足しているか、諦めていないかを聴き取ります。11項目の他に希望することも追加で聴き取り、記録します。

聴き取りの中で、本人が言った一言二言を大切にしてそのまま具体的に書き留めます。

答えることが難しいと感じる方にも、必ず声を掛けて聴くことで、本人が意思を表明する機会となり、関わる人が思いを受け止めることで、本人への理解や、コミュニケーションが深まることが期待されます。

認知症の本人の声（感じていること）を聴くことから始まるケア

生活状態の全11項目は、実現度が高いほど、本人のよりよい状態に関連しています（参考資料）。

【聴き手用】で聴き取った声をメモや数値化することで、本人が希望しているにも関わらず、実現できていない、満足していない、諦めてしまっているようなことなどを、整理して、優先的に支援する項目を考えたり、本人の声を家族や寄り添う支援者らと共有することなどに活かします。

希望を伝えることが難しい人等が、希望の程度の高低などによって、支援内容が偏りすぎないように、全項目を把握して活かすことが重要です。

一人一人から聴き取った声を、①個別のケアやケアプランに活かす、②施設の入所時とその後の経過や変化に基づいてケアの改善やケア目標の見直しに活かす、③本人の声を家族や知人、支援者らと共有する、④施設内や地域の支援体制や認知症ケアパスに活かすことも考えられます。

【介護者観察用】と併用することで、本人の思いを反映したよりよい生活状態の実現に活かされると考えられます。

参考資料：認知症施策アウトカム指標実施の手引き

https://www.dcnet.gr.jp/pdf/journal/t_2019_outcome_tebikisonent.pdf

ご本人の生活安寧指標 1 1 使い方【聴き手用】

認知症のご本人の声（感じていること）を聴き取る方法（例）

【事前準備】

・11項目と質問①②の選択肢を記載した（ご本人提示用）をご本人がみえるようにセットするのが基本です。 ※（ご本人呈示用）はご本人の様態に合わせて検討・工夫して活用します。

【導入例】

「〇〇さんの生活について、今できていることや、大切にしたい・実現したいと望まれることなどについてお聴きします。支援の方法などに活かさせていただきます。感じているままお答えください。」

≪聴き取り方法の例≫

以下の例示は1番目の項目です。項目毎に質問①～④を順に聴きとります。「本人の言葉」欄は、話を聴き取る中で本人が話した言葉をそのまま記入します。最後に、11項目以外の声を聴き取り、自由記載欄に記入します。

【質問①：実現度】

「1. 家（施設）の中に落ち着ける居場所がある」ということについて、（ご自身できなくても）現在（直近1週間程度）、介護保険サービスやご家族（スタッフ）等の支援を受けながら実現できている程度を「できている・まあまあできている・あまりできていない・できていない」から一つ選んで○をつけて下さい。※できている以外の場合は、問いかけをして具体的に聴き取る。

【質問②：希望度】

「1. 家（施設）の中に落ち着ける居場所がある」ということについて、今後、認知症などの病気により自分の考えをうまく伝えることが難しくなっても実現したい程度を「希望する・希望しない・わからない」から一つ選んで下さい。

【オプション 質問③：満足度】

「1. 家（施設）の中に落ち着ける居場所がある」ということについて、現在どの程度満足していますか。とても満足していれば○、まあまあ満足していれば△、満足できていなければ×、わからなければ？を一つ選んで下さい。

【オプション 質問④：諦め】

「1. 家（施設）の中に落ち着ける居場所がある」について、もっと実現したいと思っても、無理・できない・言いにくい等と思いきらめていることはありませんか。諦めていることがあれば有、現在十分できていて満足していれば無、わからなければ？を選んで下さい。

【最後の質問：自由記載】

- ・本人が希望すること：1から11項目以外に、〇〇さんが生活の中で、実現したいと希望されることがあれば教えてください。
- ・実現度・希望度・満足度・諦め（本人が希望した内容について）：上記①～④の基準で、同様にご記入ください。

【聴き手記入欄気づき：自由記載】

本人に話を聴く中で、聴き手ご自身が気づいたこと等を記入します。

【実現度を回答した方】

全ての聴き取りが終了した後、最後に、回答した人をチェック（本人・支援者・本人と支援者が一緒）します。 ※支援者だけの場合は、何か本人の声を聴き取れないか再確認します。

(ご本人提示用)

1. 家（施設）の中に落ち着ける居場所がある
2. 夜ぐっすり眠れる
3. 話を聞いてくれる人がいる
4. 家族（スタッフ）や親戚、親しい人たちとのつながりが保たれている
5. トイレに行く
6. 食事がおいしい
7. 地域の一員として社会参加する 例) 地域の掃除など
8. 家族（スタッフ）や周りの人の役に立つことをしている
9. 家（施設）の外になじみの場所がある
10. 趣味やレクリエーションなどたのしい活動をする
例) 読書、音楽鑑賞、旅行など
11. いろいろな行事を楽しむ
例) 誕生日、正月、花見、七夕、月見、クリスマスなど

【質問1】 現在のこと

4. できている
3. まあまあできている
2. あまりできていない
1. できていない

【質問2】 今後、自分の

考えを上手く伝えることが
難しくなった時のこと

- ・希望する
- ・希望しない
- ・わからない

ご本人の生活安寧指標Ⅰ

【聴き手記入用】

聞き取り日 年 月 日

氏名 _____

実現度を回答した方に○をつけてください。		本人・支援者・一緒				本人の【希望度】 今後			本人満足度	本人諦め	本人の言葉
ご本人の生活状態について、【実現度】（ご自身でできなくても）現在、介護保険サービスやご家族（スタッフ）等の支援を受けながら実現できている程度を、【希望度】認知症などの病気により自分の考えをうまく伝えることが難しくなっても実現したい程度を、【本人の満足度】【本人の諦め】について右の選択肢から一つ選んで下さい。※詳しくは、 <u>生活安寧指標Ⅰガイド</u> をご活用ください。		【実現度】 現在（直近1週間）				希望する	希望しない	わからない	○ ・ △ ・ × ・ ？	有 ・ 無 ・ ？	本人の言葉
		できていない	できていない あまり	できている まあまあ	できている						
本人の生活状態（1～11項目）											
6項目	1 家（施設）の中に落ち着ける居場所がある	1	2	3	4	有	無	？			どこ
	2 夜ぐっすり眠れる	1	2	3	4	有	無	？			
	3 話を聞いてくれる人がいる	1	2	3	4	有	無	？			名前など
	4 家族（スタッフ）や親戚、親しい人たちとのつながりが保たれている	1	2	3	4	有	無	？			名前など
	5 トイレに行く	1	2	3	4	有	無	？			
	6 食事がおいしい	1	2	3	4	有	無	？			
実現度 小計Ⅰ（1～6の合計点）					/24点						
5項目	7 地域の一員として社会参加する 例) 地域の掃除など	1	2	3	4	有	無	？			何を
	8 家族（スタッフ）や周りの人の役に立つことをしている	1	2	3	4	有	無	？			
	9 家（施設）の外になじみの場所がある	1	2	3	4	有	無	？			どこ
	10 趣味やレクリエーションなど たのしい活動をする 例) 読書、音楽鑑賞、旅行など	1	2	3	4	有	無	？			何を
	11 いろいろな行事を楽しむ 例) 誕生日、正月、花見、七夕、月見、クリスマスなど	1	2	3	4	有	無	？			何を
実現度 小計Ⅱ（7～11の合計点）					/20点						
実現度 総合計点（Ⅰ＋Ⅱ）					/44点						
その他の 自由記載 実現希望	実現度・希望度・満足度・諦め					ご本人の希望すること					
聴き手 記入欄 気づき											